

佐志川水系佐志川 総合流域防災事業

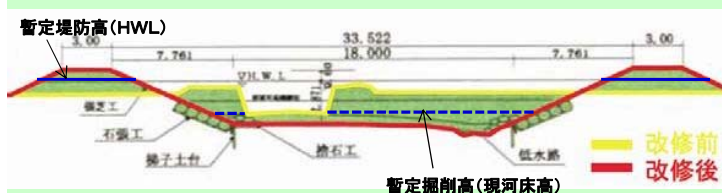
事業目的

- 流下能力不足による浸水被害が発生
昭和60年6月洪水
浸水戸数 189戸
農地浸水 20ha
- 浸水被害の軽減を図る
 - ・流路是正、狭窄部解消を実施
 - ・治水安全度の向上を図る
計画流量 $150\text{m}^3/\text{s}$
計画治水安全度 1/30

佐志川総合流域防災事業 着手年:昭和58年度 事業地:唐津市



標準断面図

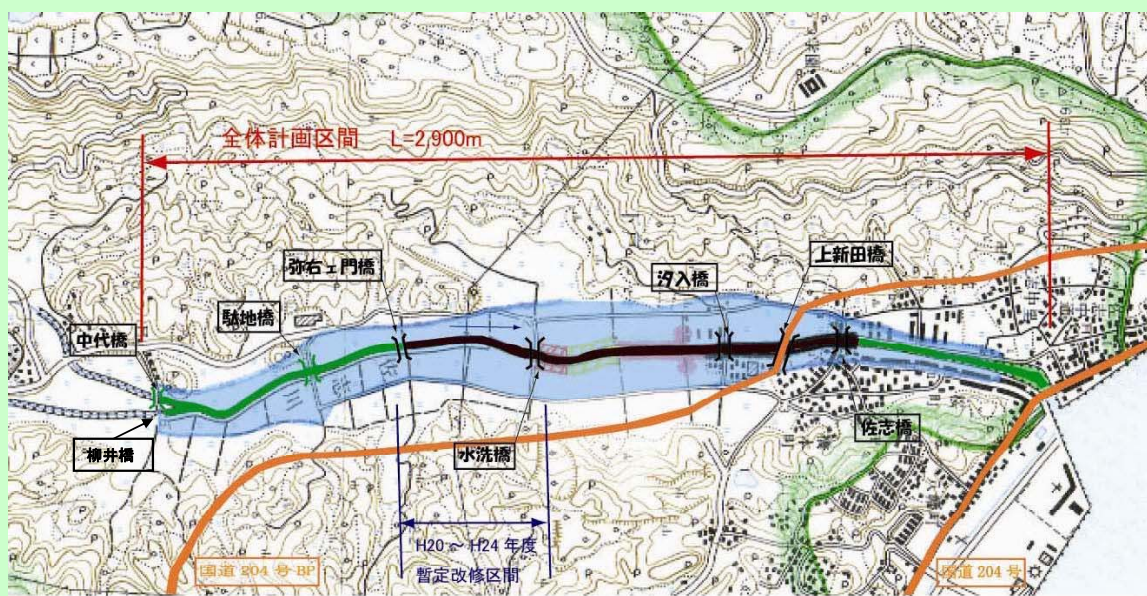


○事業概要

- ・全体事業費 4,800百万円
- ・事業期間 S58~H33
- ・改修延長 2,900m
- ・計画流量 150m³/s
- ・計画治水安全度 1/30
- ・掘削・築堤・護岸、
樋管14基、橋梁6基、
堰2基
- ・費用対効果 3.9

佐志川 事業進捗状況

— 完了区間
— 未完了区間



○事業進捗状況

- ・弥右エ門橋まで暫定掘削、暫定築堤、護岸が完了している。
- ・H24年度末進捗率 76%(事業費ベース)
- ・年平均進捗率 2.5%

費用対効果 B/C

総費用額C: 治水施設の整備及び施設完成後50年間の維持管理に要する総費用

総便益額B: 治水施設整備によってもたらされる施設完成後50年までの総便益額 (被害軽減額)

(総費用額C及び総便益額Bをそれぞれ現在価値化し比較する)

総費用C: 7, 574百万円

総便益B: 29, 465百万円

- 内訳
- ・一般資産被害(家屋、家庭用品、事業所資産、農漁家資産) 9, 980百万円
 - ・農作物被害(水稻、畑作物) 1, 564百万円
 - ・公共土木施設等災害被害(道路、橋梁、農地等) 16, 907百万円
 - ・間接被害(事業所の営業停止被害、応急対策被害等) 823百万円
 - ・残存価値 191百万円

費用対効果

$$B/C = 29, 465 / 7, 574 = 3. 9$$

昭和60年6月 集中豪雨 佐志川

日雨量281mm 時間最大雨量65mm



浸水戸数 189戸
田畑浸水20ha

改修前後の河道状況

○弥右エ門橋上流



環境への配慮

○河川改修(掘削)の実施状況

- ・河川環境への影響が生じないように、低水路形状を維持するなど、生物や景観に配慮した整備を進めています。



環境を改変しない
拡幅・掘削を実施



○今後も河川改修では以下の点に配慮

- ・河床を掘削する際は、現有する環境の保全・再生に努める。
- ・河川を行き来する魚類等に対して、河川縦断方向の連続性の確保に努める。



大坪頭首工に魚道を設置

今後の佐志川総合流域防災 事業の継続について

☆河川改修の効果☆

①治水安全度の向上

②昭和60年6月洪水による

浸水被害 189戸

田畑浸水面積 20haの軽減

③地域住民の安心・安全の確保

☆今後の事業展開☆

・事業を継続し、早期完成を図りたい